

刊夕日二月四



定額一冊五錢... 東京市神田區今川小路二ノ二

滅後の見當

眞 繼 雲 山

私は今からサツと十五年ほど前に家族全部を引きつれ借切自動車で郷里の天引峠といふ嶮路を疾走中、八十尺の豁谷へ墜落したことがある。世縁なほ盡さざりしと見え、幸ひにして九死に一生を得た。

當時はまだ自動車の流行し初めた頃で、今日のやうな圓タク洪水時代でなく従つて然うした見事な墜落ぶりが珍らしかつたと見え、且つは私の社會的肩書が手傳つた故もあつて京阪の大新聞が仰々しく一段以上も書き立て東京新聞は固より地方新聞にまでも新聞電報が飛んだ。

あのまゝ成佛してゐても光榮振りに青愾はなかつたと思はれる。當時その新聞電報を見た私の一友人が後になつて私に語るには『當然あなたは死なれたものと思ふたが、あなたは信仰を得てゐられるから、その点は安心だと思ふた』と言ふてくれたが笑談ぢやない、安心したのは先様の話で、當人たる私は、若しあのまゝ眠つて仕舞つたのであつたら、安心どころの沙汰ではなかつた。

た。成るほど信仰生活に入つてゐて、一かど佛教講演など、勤めて廻つてはゐたものの、實のところ死んでからの自分の行く先は全然お先き直つ暗であつた。知つてゐるのは書物に載つてゐることだけであつた。何はどの書物に説明がしてあらうとそれは書いた人の説明で私自身の行先に交渉はない。當時の私如き者の講譯を聞かさせられては聴衆はたまらない。

た。成るほど信仰生活に入つてゐて、一かど佛教講演など、勤めて廻つてはゐたものの、實のところ死んでからの自分の行く先は全然お先き直つ暗であつた。知つてゐるのは書物に載つてゐることだけであつた。何はどの書物に説明がしてあらうとそれは書いた人の説明で私自身の行先に交渉はない。當時の私如き者の講譯を聞かさせられては聴衆はたまらない。

それがら十五年の歳月は矢のやうに流れた。今も尚ほ修道の一沙門に過ぎない死後の行先は依然として未知数であるが、併しおかげで大体の見當はついてゐる見當の當り外れは別問題であるが、實は然ういふ見當といふべき何物もないのだから當り外れといふこともない、強いてその見當を言説に現はせば『成佛』といふの外ないが、死んでの後は地獄に突き落さるゝものとは思はず、必ず完全位にまで救ひ取らるゝものと佛の慈悲を信じ切つてゐるのでそれは殆んど念想に上るべき問題ではない。たゞ問題は斯く申す現在において如何に救はるべきか、如何に絶対完全位にまで向上すべきかの一事である。

この身、厭ふべし、この肉身を捨離したところにも尚ほ且つ凡夫のまゝで婆にコビリ附いてゐたいといふ心もちが一分にても残つてゐるといふのは迷ひである。恐らくは肉身のある間、本能的に附きまとうてゐる迷ひであらう。併しその迷ひを迷ひと知つたところに、迷ひでない本統の自分を見つけることが出来る。迷へる自己を客観し得る別の自分こそ、それは永生不滅の眞實の大我であらう。その眞實の我れとは不死であると共に不生であり無想である。

は時春!!!
◎新入學生の通學に...
◎セヒ必要な時計を...
営業種目
時計 眼鏡
指輪 電燈
其他貴金屬

店計時堂寶白

(へ向店服吳橋諸)町川新町平

無代進呈

誰にも何處でも開業出来て無資本成功即日より現金収入ある...

通信販賣研究會本部

無資本で書籍店開業案内 四六版(全一冊)送料共金十二錢
即日就業 新職業百種 (全一冊)四六版送料共金十一錢
東京今川小路 通信販賣研究會發行

◎遠近白宅筆生募集

前金保證金等絶対不用實費郵券九錢封入御申込み次第即日より就業の材料内容一切送る
東京神田 星鳳社出版部
通神保町三

開業御披露

過般の火災で弊店も類焼致しましたが一時凌ぎのバラツクが出来ましたので本日より開業する事になりました。何卒火災後の御同情と舊來の御愛顧にて倍舊の御最負御引立の程お願い致します。
尚ほ御出前も迅速に配達致します。
四月一日 平町田町

酒喜屋

女中數名至急入用

●小兒下痢一切小兒腸胃散 ●堀 藥局
平町二丁目 電話三三六番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

特製ヒナ人形

ヒナ道具賣出し

日頃おなじみの御得意様方へ謝恩の爲め特賣致します、どうぞ御一覽の程を御願致します。
平三丁目 金太郎玩具店

■産名城磐■

らか鹽と節鯉



店理代平命生本日大最優最 榮盛賀志 番一二三電 目丁四平

形人ナヒ

福フククヤ

◎今年驚く程安價になりました ◎東京一流の人形師玉秀の特作品を陳列いたしました ◎ぜひ御覽下さい...
お待ちして居ります
二丁目

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

學校に對する

第一印象を

極めて効果的に

平第三の入學生歡迎會

平町各小學校にては昨日夫々入學式を舉行し可憐な初登校姿が平町に一風景の感と與へたが特に平第三小學校では最初の試みである新入學生の歡迎會を講堂に開き生徒の遊戯や唱歌夫れに花澤先生の童話等があつて入學兒は大喜び學校に對する第一印象を極めて効果的ならしめた

勸學祭

第一と第二で

平第一小學校は昨日、第二小學校は本日午前九時より縣社子鐵倉神社々頭に於て本年度入學生二百六十三名(第一)及び二百三十二名(第二)の勸學祭を行ひ各自に守札を授けた

魚類相場

高上り

變態氣温に 漁獲高減少

石城七濱は昨今の烈しい殘寒的な變態氣温に何れも漁獲高著しく減少し是がため相場が高上りして平町の各家庭は少くならず齊えて

平商運動部

新陣容整ふ

平商業學校にては来る八月開かれる縣下中等學校大會に優勝すべく左の如き新陣容を整へ本日より猛練習を開始した

- △野球部 △庭球部
- 1 菅原 木田 齊
- 2 阿部 藤本
- 3 森 安(鈴木莊) 島
- 4 星野 塚本
- 5 根本 大塚
- 6 鈴木 鈴木(二) 田
- 7 隈川
- 補欠 佐々木 藤澤

市川検事

控訴す

二矢山事件

石城郡小川村大字鹽田一番地鈴木清政(ニ)に對する殺人事件は正當防衛に付無罪になつた事は昨報の如くであるが立會檢事市川季熊氏は不當と認め昨日宮城控訴院に控訴をなした



報豫氣天

今晩は北西の風晴明日は南西の風晴午後より曇り

今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間
- 童話劇「天國の花園」
- 後六三〇 講演「至寶と至樂」
- 後七三〇 講演「日本の世界的地位と發時」
- 後八〇〇 講演「花七夜」
- 「第二夜市兵衛の最後」
- 後八三〇 小唄「花七題」
- が工費は五萬圓である

明日の部

- 後八五〇 義太夫「艶姿女舞衣酒屋の段」
- 後九三〇 奉天より
- 後九四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 前九三〇 子供の時間
- 獨唱とハーモニカ獨奏
- 前一〇〇〇 記念講演「神武天皇建國の大業」東
- を儉約し貯蓄したる金八圓の内から軍用飛行機福島號建造費の内へ五圓残りの三圓は貧困者救済資金の内へ本日寄附を申し出た
- 後二、一〇 常警津「本朝二十四孝」常警津和歌代
- 外
- 後二、四〇 ハーモニカ合奏「玩具の兵隊の行進曲」
- 宮田ハーモニカバンド
- 後六〇〇 子供の時間
- スカウトドラマ「道臣命」
- 東京聯合少年團
- 後六三〇 講演「遵法精神に就て」法學博士男爵穂積重遠
- 花七夜(第三夜)
- 後七三〇 落語「長屋の花見」柳家小さん
- 後八〇〇 ラヂオ風景「春宵狂騒曲」伊志井寛外
- 後九三〇 奉天より

窃盜少年言渡

郡保原町東郷郷五十番地住居不定一村一郎(ニ)に對する横領窃盜事件は既報の如く昨日午後一時より平區裁判所に於て關口判事係り山本檢事立會の下に公判開延檢事の求刑一年以上三年以下通じ即日判事より判決を言ひ渡された

破藏犯

石城へ

田村郡新館村收入役宅における破藏犯人は所轄署の非常線を巧に突破山傳ひに石城地方に入り込んだ形跡ありとのことに平署では直に山間部の駐在所に急報しこれが捜査方の手配をなした

創立廿週年

平第二校が 記念唱歌會

平第二小學校に於ては来る十一月九日午前九時より講堂に於て創立二十週年記念唱歌會を開くと

美舉

運轉手の 清風園入團式

平町二丁目三井自動車部運轉手石城郡好間村大字北好間字南町田生れ小林清七(ニ)君は毎日パット一ヶ宛

井上縣議宅へ 忍入した賊捕る

石城郡赤井村大字赤井無職木田勇(ニ)は昨日午前十一時頃平町五丁目縣會議員井上茂作氏宅家人の不在中を奇貨として金側懷中時計及び金ヅサリ(時價百五十圓)現金卅圓在の中の手提金庫を窃取逃走したが早くも平署の手配に依り昨夕茨城縣松原署の手に逮捕平署に押送

五萬圓で 撰炭場新設

石城郡内郷村磐城炭礦では綴坑内における充鎮作業終

傷病軍人講演

支那事變傷病軍人後援會東北支部長陸軍歩兵中佐佐藤善兵

裁判所便り

午後二時頃平區裁判所に於て佐々木判事係り市川檢事立會の下に事實の訊問をなし詐偽罪として平刑務所に拘留された

無錢飲食拘留

郡勿來町大字鹽田字白山三十二番地飲食店久野イネ方に於て去月二十七日午後十時頃六圓餘の無錢飲食をなしたる本籍栃木縣芳賀郡七井村大字大澤住居不定無職菊地伸之助(ニ)に對し昨日

長男道夫儀病氣之處養生相不叶本日午前十一時死去仕り候間此段御通知申上候也

追而明三日午後二時ヨリ三時迄自宅ニ於テ告別式執行仕り申候

昭和七年四月二日

父 山内武夫
親戚 鈴木平吉
總代 武川信夫

豪傑剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

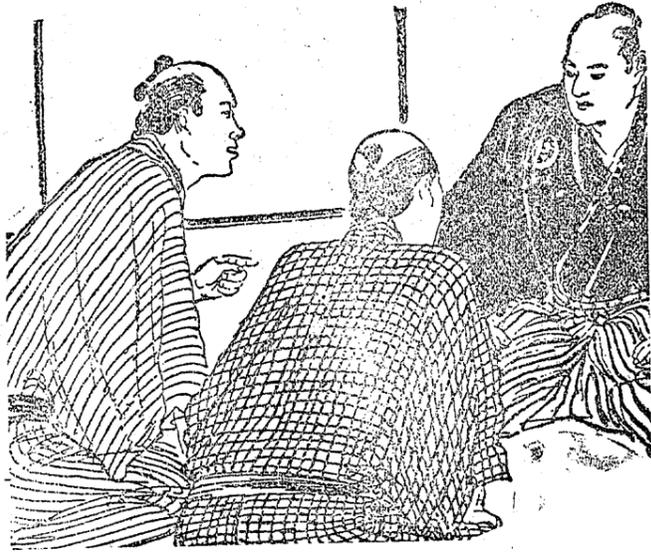
【第十七席】

神影流の達人秋山要介

(17)

今坂の様な顔

秋山要介は上野廣小路の薬種問屋井口の根岸の別荘にて古狸を退治して以来大層其名を擧げた、従つて弟子も附きます。武士ばかり稽古に来る譯ではない、俠せな若い者も習ひに来ます。これは劍術の稽古を爲ながら秋山に接近していろ、狸の話の聞くが目的、然し秋山は然うとは知らぬから能く教へる、覺えてくれば味も出ますから常磐津や清元を習つた兄イが竹刀を擔いで毎日道場に通ふ、スルト下谷善養寺町に一刀流の劍術指南をする杉山五郎兵衛といふ者が居つた、此善養寺町と云ふは坂本の踏切りの處汽車の線路に沿うた町の事、此の杉山の許へも大分若い者が通ふ、それは五郎兵衛は起倒流の柔術を教へる、これを覺えて置けば喧嘩の役に立つとそれだけ狭せな兄イが出懸ける



○『どうした吉公久しく杉山先生の許へ面を運ばねえやうだナ』
吉『先生の取替へだよ』
○『何處へ行くんだ』
吉『根岸の御行の松の許へ出る秋山先生の許へ出懸ける』

稽古を終へると酒を出してさア一杯遣れ、と御馳走してくれ、それで先生らしい様な勿体ぶつた所の無え友達をやうだ、劍術が名人と云はれる程だから柔術だつて名人だ、それは大した先生だぞ、第一弟子を見る目が高い、大勢門人が来る

がどうやら物になりさうな者は貴様だらう行く行くは物になると賞めて居た』
○『只貴様とばかりでは判らねえ、誰の事を賞めた』
吉『血の巡りの悪い奴だナ些と甘い物を食つて血を殖も食物が悪いと氣轉が利かねえ、貴様といふのは俺の事だ』
○『馬鹿にするな、貴様といふ面ぢやア無えや細長くつて真中が高く、今坂のやうな顔だ、それに痘痕があるから鹿の子餅の様だ』
吉『何とでも云へ昔から名人上手に美男は無えよ、俺

アどうだ偉からう』
○『此奴は口を聞きながら夢を見てゐるせ、然し狸先生は劍術は偉いとナ』
吉『偉いナンと云ふはあんなものぢや無え、先づ俺の見た處では今の世の宮本武藏だナ、それに今も云つた通り教へ方が親切だ、一面で五十人位えな稽古をする其間一度もお面を取つて汗を拭いた事が無え、これを以つて先生を名人と謂ふべし』
○『大層難しい事を云ふナデハ俺もたぬき先生の弟子にならう、一緒に伴れて行つてくんな』
氣の早い奴があるもの揃つて秋山要介の許へ來まして

劍術や柔術を習へるとて名人にならうといふやうな大外れた了簡もございませぬ喧嘩をした時に相手を痛めつけるだけの事が出来ればそれで望みは足りて居ります、先方から打つて來るとヒラリと交してその手を執つて肩に擔ぎ、づでんどうと投げるだけの事を教へて頂きてえものでございませぬ』
要『劍術柔術は注文通りの切賣りは出來ない、然し面白いことをいふ奴だ無邪氣で宜いナ』
と笑つてゐた。

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

柔道衣 新學期特賣!

右調度は品質確實にして斯界に定評ある優良品である
東京磐崎製柔道衣
京都正春製劍道具
右製品を責任を以て御奨めします

特賣	柔道衣	前組	2.70
特賣	平刺し	一人用	3.40
特賣	甲三	中人用	大 3.40
特賣	劍道具	竹筒付	11.00
特賣	竹刀	竹筒付	1.80

香味本位の本場録茶と
召上りませ

電三九六番
大勝園

小兒ノかん・むしニあかひき丸堀藥局
平町二丁目
電話三二六

東京十軒店久月の
雛人形陳列

お子様方が一年中で一番楽しみな桃のお節句が近づきました江戸の。檜舞臺日本橋の十軒店で永年御愛顧を受けて居ります弊店は今度初めて御當地へ参りました。是非一度御覽の榮を得たく御待申して居ります。今後永く御引立を頂き度くと存じますから値段と品質とで他店のまねの出來ぬ勉強を致します。

平町田町 (停車場前通り)
平マールケツト内
東京日本橋十軒店
久月本店直營
電話平局六〇三番